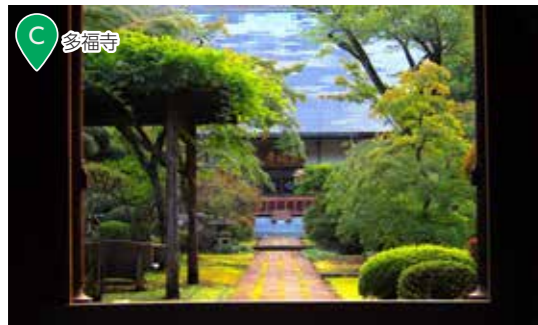


Pottering×Photograph ぽたぐらふ

ポタリングと写真を意味するPhotograph（フォトグラフ）をつないだ造語。自転車で地域を巡り、写真で魅力を掘り起こす取り組みです。ここでは2017年に開催された「三芳に、帰りたい。ぽたぐらふ展」の展示写真を紹介します。（P8・9地図に撮影スポット表示）



地域の「輝く瞬間」を収める

自転車でぶらぶらしながら地域の「輝く瞬間」をカメラに収める「ぽたぐらふ」。写真を共有して知っていただくことで、多くの人に地域に誇りと愛着を持ってほしいですね。あなたもポタリングで、地域と自転車の魅力を体感しませんか。

「三芳に、帰りたい。ぽたぐらふ展」主幹
内田 貴之さん



(撮影：広瀬明代)

テーマを決めて楽しむ

そんなポタリングの魅力は、走り慣れた地元でも新たな視点で楽しみ、魅力を再発見できるところ。「古民家や寺社巡り」や「カフェやグルメ巡り」、「おしゃれな写真を撮る」など、テーマを決めるとその視点での新しい「三芳」を楽しめるかもしれません。

今回は「みよし、ポタリング日和」。自転車のメリットを活かした「ポタリング」の可能性を探ります。

「pottering（ポタリング）」という言葉を知ったことはありますか？「のんびりする、ぶらぶら」を意味する「potter（ポター）」から派生した和製英語で「自転車であらゆる」ことを意味する、自転車を活用したサイクリングの一つです。

ロングライドやロードレースなどと違い、距離や速さを競うことなく自分のペースで走ることができます。

自転車の魅力

徒歩よりも広範囲をまわることができ、車では通りにくい場所にも気軽に立ち寄ることができる自転車。

普段車で走っている場所を自転車で走るだけで違う景色が見られるだけでなく、CO2（二酸化炭素）を出さない自転車はカーボンニュートラルに貢献もできます。

また、自転車はその季節ならではの自然の景色や音、香りなどをよりリアルに感じることができ、移動手段だけでなく、レジャーなど楽しむ乗り物として注目を集めています。